

平成23年度土木学会選奨土木遺産 認定

筑波山千寺川（せんじゅがわ）砂防堰堤群

完成年 昭和14～18年

諸元・形式等 石積砂防堰堤 16基

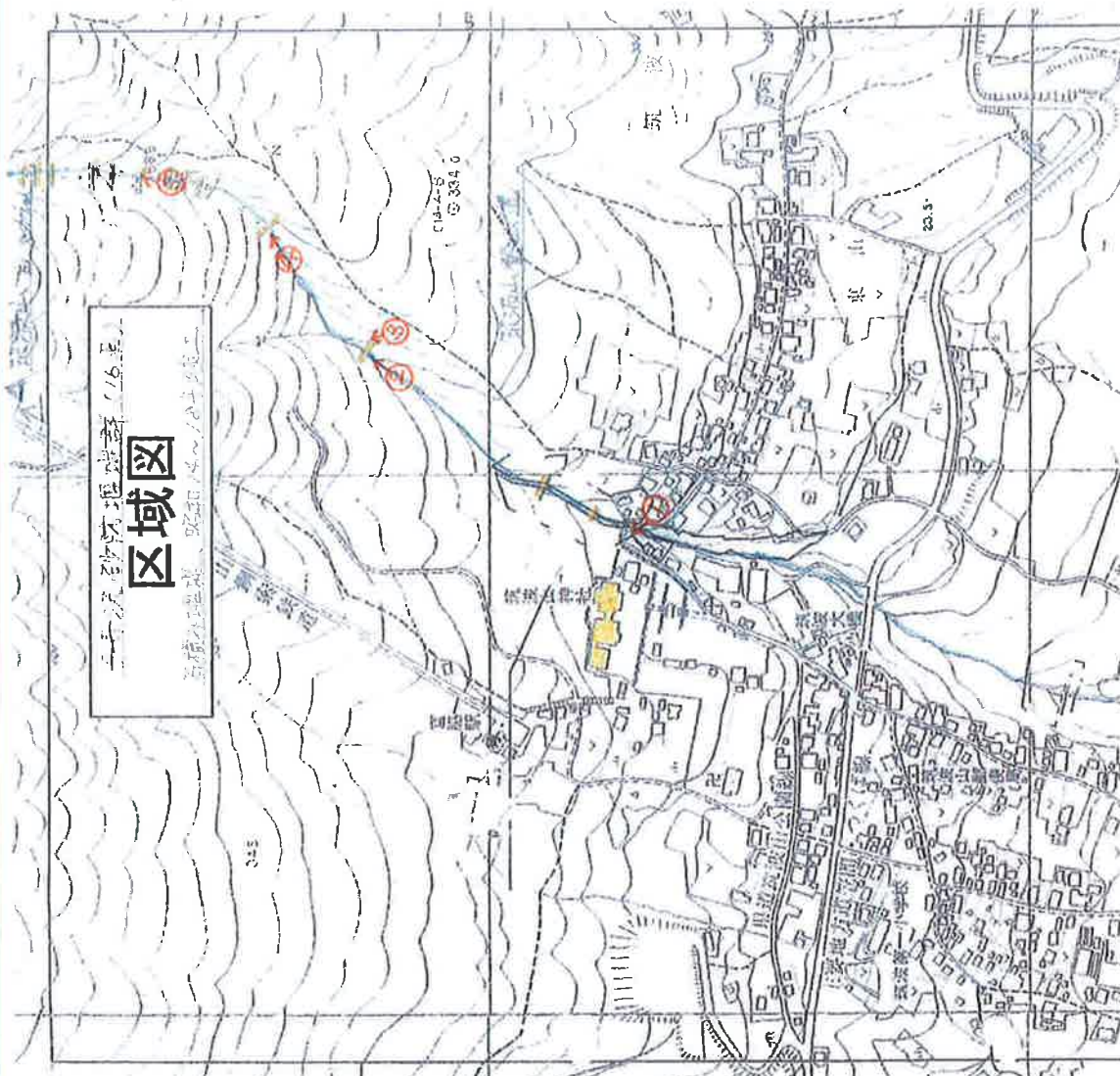
所在地 つくば市筑波

管理者 茨城県

特徴

- ・昭和13年の豪雨時（茨城県で観測史上最大の降雨、県内400～700mm）に、筑波山千寺川にて土石流が発生。
これにより、3名の方が死亡、寺や家屋が全壊。
- ・県では、翌年から、初めて筑波山砂防事業に着手。
土石流を起こした千寺沢に、石積みの砂防堰堤群を施工。
- ・その後、この堰堤群は、土石流の発生を防止し、筑波山神社やその門前町など筑波山山麓のまちまちの安全・安心な生活を山奥でひっそりと縁の下の力持ちのごとく見守っている。
- ・この堰堤群は、茨城県における初期の砂防事業によるもので、保存状態も概ね良好で、石積みの趣のある溪流の景観を醸しだし、当時の土木技術を伝える貴重な構造物である。

千寺川 水系図



① 千寺川 砂防堰堤



② 千寺川 砂防堰堤



千寺川 砂防堰堤

3



千寺川 砂防堰堤



⑤ 千寺川 砂防堰堤



平成23年度 土木学会選奨土木遺産の認定について

平成22年度に認定された水戸市の「大手橋」及び常陸太田市の「央(なか)橋」に続き、平成23年度は茨城県管理の「筑波山砂防堰堤群」が認定を受けました。

認定書と銘板の交付につきましては、平成23年11月11日開催されました第5回イブニングセミナーの冒頭で、茨城会の副会長である茨城大学工学部の小柳武和先生から施設の管理者である茨城県土木部河川課ダム砂防室の井上和則室長補佐に授与されました。



賞状の授与



銘板の授与

その後、受賞を記念して現地に案内看板を設置するに当たり、詳細な調査を行ったところ申請の段階で砂防堰堤群が16基としていましたが全体で24基あることが分かり、案内看板では堰堤群の数を24基に改めさせていただきました。



つくば さん せん しゅ かわ さ ぼう えん てい ぐん
筑波山千寺川砂防堰堤群

Mt. Tsukuba Senjyu River Sabo Weir Group



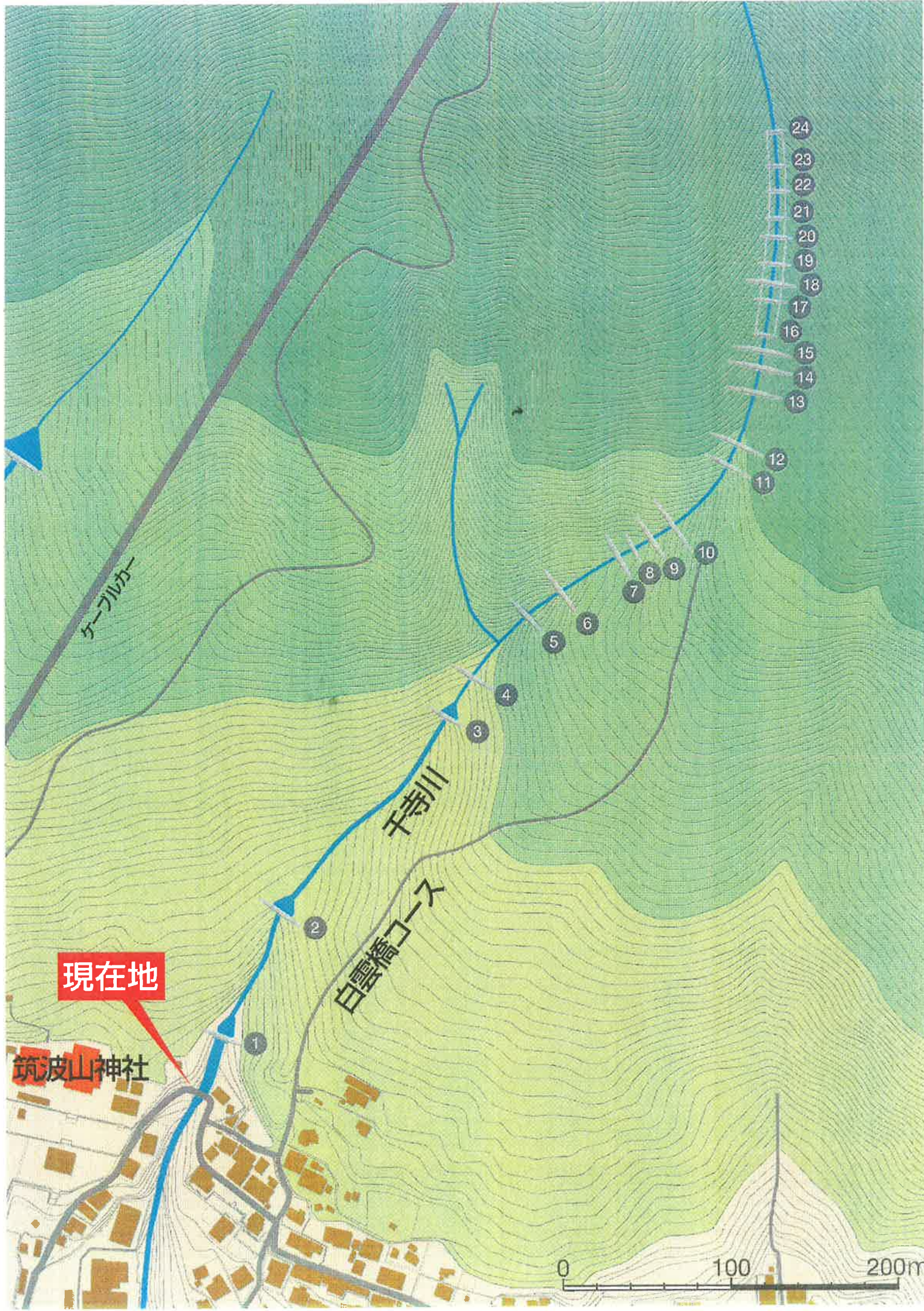
名 称 筑波山千寺川砂防堰堤群
 施 工 年 度 昭和14～18年
 諸 元 ・ 型 式 石積砂防堰堤 24基
 高 さ 2～8m
 幅 員 22～42m

筑波山千寺川砂防堰堤群は、昭和13年の豪雨により発生した土砂災害を機に、茨城県における最初の本格的砂防事業として整備されました。

当該砂防堰堤群は、石積みの趣ある渓流の景観を醸し出しており、当時の土木技術を後世に伝える貴重な構造物と評価され、平成23年度土木学会選奨土木遺産に認定されました。

問い合わせ：茨城県土木部河川課ダム砂防室 029(301)4480
 茨城県土木事務所 029(822)4345





ケーブルカー

千寿川

白雲橋コース

現在地

筑波山神社

0 100 200m